

一 般 質 問

3月定例会は9日に招集され、会期を12日までの4日間(11日は休会)とし開催。

条例改正5件、指定管理11件、補正予算6件、当初予算8件の内29件を原案のとおり可決。指定管理1件を否決した。

一般質問では11人が当面する課題について活発な議論を展開した。意見書2件を採択し閉会した。

改選後初の定例会です



コミュニティバス 周遊・無料化を

答 周遊は検討

問 藤野格昭

大崎地区は、買い物をする場所や役場が離れており不便である。
町外より無料の病院送迎バスが来ている。診療所の外来患者確保や利用者の便宜を計るため、大崎周遊や無料化を考えては。

答 町 長

周遊するには、運行上問題がある。要望が多いなら再検討する。
無料化は今までの経緯があり、理解を。



住民の足

第三セクター

経営状態は

答 改善にむけて努力

問 藤野

町の第三セクターの法人数と経営状態を聞く。

答 町長

現在5つの第三セクターがあり、アプロスは当

問 藤野

収支報告を議会にも。

答 町長

その都度報告している。

議長一ロメモ！

車の両輪

執行部から提案された予算や条例を審議し、議決をする。議決した案件が適正に執行されているか批判、監視をする。

これが執行部と議会が“車の両輪”と云われるゆえんである。

仁淀川町が出資している法人や公共団体以外の団体を指定管理者の候補に

選定するときは“公募”が義務付けられており、要件が満たされていないかった町民バスの指定管理者の指定は否決となったものである。

“仕事がなくなる”“バスが止まる”議員は何をしている・・・など多くの批判が否決をした議会に集中した。可決か否決か、全町民の思いを胸に十二人の議員はそれぞれが判断し頑張っている。

私は条例違反を見逃すようでは、議会の存在意義はない。

若藤 敏久

吾北分校

入学に間に合うか

答 無理かも

問 藤野

吾北分校への通学は、黒岩観光バス利用と答弁にあったが、町のバスで行う考えはないのか。

答 町長

吾北分校への生徒は増加しており、町も便宜を図っていく。教育委員会などを通じ、いの町と話し合う。

問 藤野

入学までに間に合うか。

答 教育長

現在調整中で無理かもしれない。



町より6人通学（吾北分校）



桃の花を全町に

答 地域の取り組みに支援

問

藤原陽三

花の咲く時期になり、散策を楽しむ人が多くなる。

ひょうたん桜、しだれ桜に続き、上久喜の咲き分けの桃が有名になり、町内外から多くの人が訪れてくれるようになった。町も桃の花を全域に広め、できる限りの支援を。

答

町長

地区住民が15年前から約500本の桃の花を植栽し、新聞の紹介もあり、多くの見物客が訪れ、混雑した。今後、案内板、駐車場、トイレは、地元と相談し対応する。新設すれば整備、管理の問題もあり、道路沿いに隣接した広場



今年も咲きました（上久喜地区）

や地区の集会所などを利用できるよう協議し検討したい。
上久喜に限らず、地域

で事業に取り組む場合は補助金などで積極的に支援したい。

地元通学者支援は

答 月額3千円が5千円に



問

片岡政徳

佐川高校は一ヶ月約四万円の交通費で保護者には大きな負担となる。県の支援は。

クラブ活動で遅くなり保護者の迎えで負担がかかる。と聞くが対応策は。

本町には小学生250人、中学生123人が学んでいる。本町の教育に対する支援を含めた姿勢を見て将来を考え、低学年から便利な所に転出もあると考えるが抜本的な対策を聞く。

答

教育長

県は奨学金制度で、月三万円を上限に貸付を行っている。町は22年度より通学支援を月額三千円から五千円にし、予算計上している。国は授業料負担軽減対策を22年度に計画、保護者の負担軽減にと考える。

町内の教育機関で勉強し立派な人間になることを願っているが、今年も3人が町外の中学校へ入学する。

町の教育の向上に知恵を絞っていきたいと考えている。
部活に対しての支援はできない。



佐川高校へ

社協事務所

便利だけで優先か

答 経費節減につながる

問

片岡

場所が便利であるだけで優先されているが、安全で総合的プランが立てられる他の場所の検討はしたか。平らな場所に町産の木材で建築し、十分な駐車ができる施設を望むが。

答

保健福祉課長

町からの受託事業が相当地、事務作業は、本庁、保健福祉課の近くであれば事務効率が良いと考え、事務所と「ほのか」が同一建物内であれば経費節減にもなるなど検討した。

意見は今後の検討課題とし参考にする。

問

片岡

社会福祉協議会の事務所などの建設計画を検討会で検討した改案の説明で、再度、NTT跡地であったが、杭打ちに約三千万円かかり、国道沿で曲がり角であるため危険が伴う問題点と池川保健

答

保健福祉課長

センターなど既設建物の利用の意見があったが、検討会ではどのように検討したか聞く。

杭打ち工事約七百万円を含め、基礎よう壁工事、造成工事、補強工事で約二千六百万円となる。交通の危険な点は、建物の前に十分な駐車場などを取り安全を図る。

池川保健センターは「岩丸荘」が手狭となっているので、2階を改造し、移転を考えている。



国道33号線（旧NTT前）



アイデアに1億円

答 4事業で500万円

問 農本規仁

県の当初予算で、学力・体力向上のため市町村独自のアイデアに1億円を予算化している。町のアイデアは。

答 教育長

教育的視野からの子育て支援、生活習慣の確立、特別支援への早期対応、関係職員の資質向上のための事業、読書支援員を配置した読書活動推進事業、地域の文化にふれるための児童生徒地域文化活動事業と保・小・中連携教育推進事業の4事業で約500万円を計画している。

問 農本

他町村にない教育施策と、通学のための労力を第一に考えた学校統合は。

答 教育長

町には多くの伝統文化



ぴかぴかの1年生（池川小）

問 農本

が残っており学校に取り入れる活動を考えている。また、小規模であるからこそ本に親しむ文化をつくる活動を考えている。学校統合は、早急な課題ととらえ取り組む。

答 町長

町有地は、担当課で今後精査し払い下げも検討していく。

現在、池川土居を中心に空き家調査をしており、今後、所有者の意向を聞き活用していきたい。

定住には働く場の確保も重要で町産材の家推進事業と併せ、国の雇用対策事業も活用し定住促進に努めていく。

空き家の調査

定住促進の施策は

答 働く場の確保も



空き家が多くなりました